

令和6年度
事業報告書

令和6年度 事業報告

令和6年度は、「地域共生社会」の実現に向けた行動計画としての性格を有する第7次地域福祉活動計画がスタートし、「地域の支え合いの仕組みづくり」、「孤立を防ぐ仕組みづくり」、「権利擁護の推進」を重点事業に位置付け、各種事業に取り組みました。

「地域の支え合いの仕組みづくり」については、地域福祉活動の推進母体である15地区の地区地域福祉推進委員会に対する支援を継続しながら、地域福祉コーディネーターとして個別支援・地域支援に取り組み、また、生活支援コーディネーターとして市行政や地域包括支援センター、市民の方々と連携を図り、地域の中で住民同士が互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりや居場所づくり等の推進に努めました。

「孤立を防ぐ仕組みづくり」については、福祉まるごと相談を通じ、一人一人の困りごとに寄り添う支援と、その人を支える“地域をつくる”支援の一体的な推進に取り組みました。また、厚木市より受託した重層的支援体制整備事業の参加支援事業・地域づくり事業について、コミュニティデザイン推進員を中心に調整を行い、市内福祉施設や企業等との協力により、社会とのつながりが必要な対象者について他者との交流の場や機会を設けることができました。

「権利擁護の推進」については、厚木市権利擁護支援センター事業として成年後見制度の広報啓発や相談体制の充実に努め、制度の利用が必要な人に支援がつながるよう関係機関や専門職との連携を図り、本人を中心としたチーム支援に取り組みました。さらに、本人に寄り添い、地域に密着した活動を行うことが期待されている市民後見人の登録者について、資質向上のための研修会や経験を共有する場を設け、本会との複数受任で活動していた市民後見人のうち2人が単独受任に移行しました。

これら重点事業のほか各種事業については、行政や福祉関係機関等との連携・調整を図りながら効果的かつ効率的な事業の実施に努めたほか、賛助会員への加入促進のため、フェイスブックによる情報の発信や機会を捉えてのパンフレット配布など、本会事業への理解を深めていただく取組を行いました。

重点事業及び各種事業の実施状況については、次のとおりです。

1 法人事業

(1)法人運営事業

ア 法人運営に係る会議等の開催

(ア) 理 事 会

1	開 催 日	令和6年5月31日（金）
	場 所	厚木市保健福祉センター
	出 席 者	理事10人、監事2人
	審議事項等	(1)議案第1号 令和5年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会事業報告について (2)議案第2号 令和5年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会決算について (3)議案第3号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について (4)議案第4号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会評議員の選任候補者の推薦について (5)議案第5号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について (6)議案第6号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会評議員会の招集について (7)報告事項1 職務執行状況報告について (8)福祉団体等の研修支援事業（マイクロバスの運行）について
2	開 催 日	令和7年1月24日（金）
	場 所	厚木市保健福祉センター
	出 席 者	理事9人、監事1人
	審議事項等	(1)議案第7号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会事務局規程等の一部を改正する規程について (2)議案第8号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について (3)議案第9号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等規程等の一部を改正する規程について (4)議案第10号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会正規職員の給与規程の一部を改正する規程について (5)議案第11号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会移送サービス事業運営規程の一部を改正する規程について (6)議案第12号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会居宅介護事業所運営規程の一部を改正する規程について (7)議案第13号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄について (8)報告事項1 職務執行状況報告について

3	開催日	令和7年3月18日（火）
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事9人、監事2人
	審議事項等	(1) 議案第14号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 職員の育児・介護休業等規程等の一部を改正する 規程について (2) 議案第15号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 正規職員の給与規程の一部を改正する規程について (3) 議案第16号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 マイクロバス運行規程を廃止する規程について (4) 議案第17号 役員等賠償責任保険について (5) 議案第18号 令和7年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について (6) 議案第19号 令和7年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について (7) 議案第20号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について

(イ) 評 議 員 会

1	開催日	令和6年6月21日（金）
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員17人、監事1人
	審議事項等	(1) 議案第1号 令和5年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業報告について (2) 議案第2号 令和5年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 決算について
2	開催日	令和7年3月28日（金）
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員14名
	審議事項等	(1) 議案第3号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の 放棄について (2) 議案第4号 令和7年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について (3) 議案第5号 令和7年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について

(ウ) 評議員選任・解任委員会

開催日	令和6年7月8日(月)
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	委員3人
審議事項	(1) 議案第1号 委員長の選任について (2) 議案第2号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員の選任について

(エ) 監査

開催日	令和6年5月20日(月)
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	監事2人
審議事項	(1) 理事の職務執行の状況について (2) 法人の財産の状況について

イ 役員等研修会

県央都市社会福祉協議会連絡協議会が開催する役員研修会に参加しました。

開催日	令和6年11月21日(木)
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	講義：テーマ「これからの社協の役割とあり方」
審議事項	日本福祉大学福祉経営学部 教授 渋谷篤男氏

ウ 会員募集運動

一般会員会費と賛助会員会費を合わせた納入総額 16,729,173円

(ア) 一般会員会費 590,000円

第1種会員から第7種会員の合計118団体の一般会員会費(@5,000円)

(イ) 賛助会員会費 16,139,173円

a 個人 自治会を通して各世帯に賛助会員会費の納入を依頼(@500円)

b 法人 ダイレクトメールにより各法人に賛助会員会費の納入を依頼(@1,000円)

賛助会員会費の実績

(単位：円)

(単位：世帯、法人)

地区名	会 費		会費合計	会員数		会員合計
	世 帯	法 人		世帯数	法人数	
厚木北	798,173	402,092	1,200,265	5,805	93	5,898
厚木南	989,700	236,000	1,225,700	2,967	30	2,997
依知北	836,400	214,285	1,050,685	3,171	42	3,213
依知南	750,000	143,615	893,615	2,284	31	2,315
睦合北	556,500	108,505	665,005	1,981	16	1,997
睦合南	774,010	136,000	910,010	4,783	32	4,770
睦合西	337,580	76,500	414,080	2,778	17	2,795
荻野	1,581,411	243,516	1,824,927	5,523	29	5,552
小鮎	1,263,650	119,615	1,383,265	3,295	29	3,324
南毛利	2,421,178	149,615	2,570,793	8,521	41	8,562
南毛利南	915,400	109,000	1,024,400	2,479	24	2,503
玉川	434,000	84,000	518,000	882	15	897
森の里	582,009	0	582,009	1,939	0	1,939
相川	1,128,250	247,410	1,375,660	3,373	62	3,435
緑ヶ丘	480,254	20,505	500,759	1,706	5	1,711
合計	13,848,515	2,290,658	16,139,173	51,442	466	51,908

エ 事務局の管理運営等

(ア) 事務局の管理運営

文書の処理、人事管理、経理及び財産の管理等を行い、事務局の円滑な管理運営に努めました。

(イ) 月次巡回監査等の実施

「厚生労働省」社会福祉法人審査基準（第3の6の(1)）に基づく、専門家による財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援の趣旨に基づき、西迫会計事務所と社会福祉法人経理支援業務委託契約を締結し、月次巡回監査等を実施しました。

結果：財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書
(本書113ページ)のとおり

オ 職員研修・人材育成

神奈川県社会福祉協議会や福祉関係機関等による研修を受講したほか、内部研修や全職員を対象としたスーパービジョンの実施により、職員の資質向上及び共通理解を図りました。

さらに、社会福祉士相談援助実習を受入れ、職員の資質向上を図るとともに次世代の社会福祉専門職の養成に取り組みました。

(7) 外部研修

基幹	社会福祉に関わる者として共通基盤となる価値・知識・専門性を身につける
	社会福祉基礎研修（初任者編） / 社協基礎研修 / 相談対応力向上研修
階層別	組織性を高める・階級に応じて必要な知識を高める
	チームリーダーキャリアパス対応生涯研修 / 中堅職員キャリアパス対応生涯研修 / 社協組織マネジメント研修 / 人材育成体制研修 / チームビルディング研修 / スーパーバイザーフォローアップ研修 / スーパーバイザー研修 / 実習指導者ワークショップ / 新任職員研修 / 県社協市町村社協部会会長・常務理事・事務局長セミナー / 市町村社協部会 常務理事・事務局長会・セミナー
担当 職務別	職務に関する専門性を高める
	生活支援コーディネーター研修 / 生活支援コーディネーター交流集会 / 重層的支援体制構築支援事業市町村地域福祉管理職等向け研修会 / 経理研修（基礎編・期間損益計算編） / 定額減税の制度と年末調整業務のペーパーレス化セミナー / SNS情報発信力強化研修 / 法人後見担当者基礎研修 / 法人後見事業担当者現任研修 / 成年後見制度利用促進体制整備研修 / 中核機関等成年後見担当職員研修会 / 神奈川県意思決定支援ガイドライン研修 / 相談員研修 / 日常生活自立支援事業管理監督者研修 / 日常生活自立支援事業管理監督者・現任者研修 / 自立支援型地域ケア会議に伴う研修

(4) 内部研修

5月 「社協事業から考える包括的支援体制について」

～事業と事業のつながりを考える

講師 武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 教授 渡辺裕一 氏

10月 グループワーク「社会資源の再発見」

3月 グループワーク「社協50周年記念に向けた意見出し」

「精神的に不安定な方への対応」

「社協職員が目指す地域とのかかわり」

「社協の新規事業の展望について」

(7) 社会福祉士相談援助実習の受入

1	日 程	8月26日～9月30日のうち24日間
	人 数	1人（早稲田大学人間科学部健康福祉科学科 3年生）
2	日 程	11月1日～12月5日のうち24日間
	人 数	1人（大妻女子大学人間関係部人間福祉学科 3年生）

カ 県央都市社会福祉協議会連絡協議会（幹事市）

県央都市社協連絡協議会の幹事市として、情報交換、調査研究を行いました。

(ア) 幹事会

開催日 令和6年6月26日付 ※書面開催
内 容 令和6年度県央都市社会福祉協議会連絡協議会総会資料について

(イ) 総 会

開催日 令和6年7月29日（月）
場 所 厚木市保健福祉センター
内 容 ・ 令和5年度事業報告及び決算について
・ 令和5年度監事監査報告
・ 令和6年度役員選任について
・ 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)について
・ 神奈川県社会福祉協議会より情報提供と情報共有

(ウ) 幹部職員会

開催日 令和7年3月10日（月）
場 所 厚木市保健福祉センター
内 容 令和7年度県央都市社会福祉協議会連絡協議会の事業計画について等

(エ) 会長会・幹事会合同会議

開催日 令和7年3月14日付（金）※書面開催
内 容 ・ 令和6年度事業報告について
・ 令和7年度事業の方向性（案）について
・ 県央都市社協連絡協議会役員の輪番について
・ 市町村社協部会（県社協主管）役員選出について

(オ) 課題別職員情報交換会

1	開催日	令和6年10月9日（水）
	場 所	厚木市保健福祉センター
	テーマ	「災害時の県央都市社協の連携について」
2	開催日	令和7年1月29日（水）
	場 所	厚木市保健福祉センター
	テーマ	「社協の人材確保・育成について」

(カ) 役員対象研究会【再掲】

開催日 令和6年11月21日（木）
場 所 厚木市保健福祉センター
内 容 講義：テーマ「これからの社協の役割とあり方」
講 師 日本福祉大学福祉経営学部 教授 渋谷篤男 氏

キ 福祉まるごと相談

市民の日常生活における福祉に関する様々な心配事、悩み事、困り事など、あらゆる福祉問題に幅広く気軽に相談できる窓口として、「福祉まるごと相談」を実施しました。

(ア) 相談対応延べ件数 409件（新規相談対応99件、継続相談対応310件）

※ 複合的な課題を抱える世帯からの相談もあるため、1回の相談において対象者属性が複数となる場合があります。

(単位：件)

対象者属性						初回 継続		相談方法				対応内容			
高齢者		障がい者			その他	初回	継続	来所	電話	訪問	その他	相談援助	連絡調整	ケースカンファレンス	その他
認知症	一般	知的	精神	身体											
15	130	26	218	6	44	99	310	48	336	19	6	382	26	2	17

相談内容（初回相談時）

(単位：件)

生活困窮	福祉サービス	家族関係	住環境整備	介護	保健・医療	離職・就労	子育て	年金	財産・相続	認知症関係	生きがい	リハビリ	福祉機器	活動組織の立ち上げ支援	権利擁護	その他
8	20	13	7	9	2	1	1	1	2	1	2	0	0	2	0	30

(イ) 毎月1回、内部情報交換会を開催しました。

ク 社協あつぎの発行

(ア) 「社協あつぎ」第174号から第177号まで、それぞれ6月、9月、12月、3月の各15日に、4回発行しました。（自治会を通じて配布）

(イ) 広報委員会の開催

社協あつぎ	開催日	場所
第174号	令和6年5月14日(火)	厚木市保健福祉センター
第175号	令和6年8月9日(金)	厚木市保健福祉センター
第176号	令和6年11月11日(月)	厚木市保健福祉センター
第177号	令和7年2月14日(金)	厚木市保健福祉センター

ケ 厚木市社会福祉大会

第55回厚木市社会福祉大会（厚木市と共催）

開催日	令和6年11月2日（土）
場 所	厚木市保健福祉センター
被表彰者等	表彰 21の個人・団体 感謝状贈呈 11の個人・団体
参加者	115人

コ 啓発宣伝・情報配信事業

本会ホームページ及びフェイスブックにより、本会の事業及び地区地域福祉推進委員会のイベント等の情報発信に努め、また福祉情報の提供を行いました。

さらに、職員が地域等に出向き、本会事業について話をする「出前講座」を実施しました。

(ア) フェイスブック

投稿数 201件

通算フォロワー数 627人

(イ) 出前講座

内 容	回 数	対 象
社会福祉協議会とは	1回	地区住民、 高校生、 地域包括支援センター職員、 社会福祉法人職員、 当事者団体 等
成年後見制度について	3回	
終活について	6回	
厚木市権利擁護支援センターとは	1回	
合 計	11回	

サ ふれあい基金

寄付採納件数・金額 2件 総額 400,000円

シ 善意銀行

(ア) 一般寄付

a 寄付採納件数・金額 52件 総額 6,267,046円

b 物品寄付 20件

内容 使用済み切手、文具、タオル 等

(イ) 指定寄付

a 寄付採納件数・金額 1件 総額 121,430円

使途の指定 交通遺児支援

b 物品寄付 1件

内容 もいちどペーパー（トイレットペーパー）10,000ロール

使途の指定 市内障がい者施設及び障がい者福祉事業所のために

(2)住民福祉活動推進事業

ア 地区地域福祉推進委員会事業費の交付

15地区の地区地域福祉推進委員会の運営や活動を支援するため、交付しました。

総 額 17,528,000円

交付金財源 賛助会員会費 6,428,000円

厚木市交付金 11,100,000円

イ 地区地域福祉推進委員会活動への助成

助成金名	助成地区数	助成金額
広報活動助成金	15 地区	240,000円
子育て支援事業助成金	15 地区	460,000円
高齢者ミニデイサービス事業等助成金	15 地区	2,250,000円
きずな交流事業助成金	13 地区	580,000円
見守り活動助成事業	12 地区	600,000円
合 計		4,130,000円

ウ 住民福祉活動推進事業

小地域ふれあい活動助成金（地域住民が行う自主的な活動の支援）

52団体 520,000円（@10,000×52団体）

エ 地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーターによる支援

地区地域福祉推進委員会の活動支援を実施するとともに、地域の高齢者世帯、障がい者世帯等の個別課題発見・解決等を図るため、社会資源・地域資源の活用などをコーディネートし、地域の特性に応じた支援を行う地域福祉コーディネーターを配置し、福祉まるごと相談の対応等、個別相談や地域福祉の推進に努めました。

また、市から生活支援コーディネーターの委嘱を受け、地域の会議に参画し、地域包括支援センターや地域住民等と連携しながら地域課題に対する取り組みを行いました。

(ア) 相談・問合せ対応	1,956 件
(イ) 福祉まるごと相談対応	169 件
(ウ) 会議、打合せへの参画	686 件
(エ) 地域事業、研修等への参加	266 件
(オ) 市と地域福祉コーディネーターによる情報交換会を開催 (隔月に1回)	6 回

オ 地域福祉推進委員会連絡会議の開催

地域福祉推進委員会相互の情報交換及び研修の場として、地域福祉推進委員会連絡会議を開催しました。

開催日	令和7年3月6日（木）
場 所	アミューあつぎ
参加者	地区地域福祉推進委員会委員（広報担当者） 19人
内 容	広報に関する研修会 テーマ「広報の基本について～より良い広報づくりのために～」 講師 厚木市広報シティプロモーション課 職員

カ 新たな居場所づくりへの支援

(ア) 本会ホームページに掲載をしている「居場所マップ」について、二次元コードを記したカードを作成し、幅広く周知をしました。

(イ) コーディネーターが地域に出向き、社会資源でもある居場所の把握に努め、新たに居場所を創設するための会議へ参加したり、立ち上げに関するアドバイスをする等の支援を行いました。

キ 重層的支援体制整備事業における参加支援事業と地域づくり事業

社会とつながることにサポートが必要な対象者への支援を実施するとともに、拠点の整備や、分野を超えた地域づくりを推進しました。

	開催日・場所	内 容
1	令和6年8月18日（日） 荻野運動公園体育館・会議室	市内在住の子育て世帯を対象とした「生活相談会&夏まつり・衣類交換会」をボランティア団体等との共催で実施。 参加者：延べ550人
2	令和6年7月1日（月）～ 令和7年3月31日（月） レザミ工芸・厚木南公民館体育室	参加支援事業の対象者に対し、個別支援プランを作成し、ボランティア団体の協力により支援を実施。
3	令和6年12月13日（金）、 令和7年1月23日（木）、 2月27日（木）、3月27日（木） 愛名やまゆり園 敷地内花壇	愛名やまゆり園の花壇（通称 やまゆりガーデン）を活用し、社会参加への支援が必要な方等が参加し、花植え等を実施。 参加者：延べ72人
4	令和7年1月29日（水） アミューあつぎ ミュージックルーム1	地域のつながり講演会「東日本大震災から考える～地域コミュニティの大切さを知る～」を開催。 講 師：岩手県釜石市 市民生活部長兼復興推進本部事務局長 平野敏也 氏 参加者：70人
5	令和7年2月27日（木） 愛名やまゆり園 体育館	施設利用者や社会参加への支援が必要な方等が、木片のヤスリ掛けや色付けを行い、積み木の製作を通じて交流を図った。 参加者：延べ50人

	開催日・場所	内 容
6	令和7年3月24日（月） ユーコープ厚木戸室店	ユーコープ厚木戸室店と地域づくりの連携協定を締結した。 締結式参加者：自治会長、民生委員等15人

(3)福祉活動推進事業

ア 同行援護従業者養成研修事業

福祉人材育成のため、神奈川県指定を受け同行援護従業者養成研修を実施しました。

同行援護従業者養成研修 一般課程及び応用課程 修了者 9人

	開催日・場所	内 容
1	令和6年10月11日（金） 厚木市保健福祉センター	・開講式 オリエンテーション 〈一般課程〉視覚障害者（児）福祉サービス 〈一般課程〉同行援護の制度と従業者の業務 〈一般課程〉障害・疾病の理解① 〈応用課程〉障害・疾病の理解②
2	令和6年10月18日（月） 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉障害者（児）の心理① 〈応用課程〉障害者（児）の心理② 〈一般課程〉同行援護の基礎知識 〈一般課程〉情報支援と情報提供
3	令和6年10月21日（金） 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉代筆・代読の基礎知識 〈一般課程〉基本技能（演習）
4	令和6年10月23日（月） 厚木市保健福祉センター、 地下道、イオン厚木店	〈応用課程〉場面別基本技能（演習） 〈応用課程〉場面別応用技能（演習） 〈一般課程〉応用技能（演習）
5	令和6年10月28日（金） 厚木市保健福祉センター、 神奈川中央交通東（株）厚木営業所、 小田急線本厚木駅、海老名駅 相鉄線海老名駅	〈一般課程〉応用技能（演習） 〈応用課程〉交通機関の利用（演習） 〈応用課程〉場面別応用技能（演習） ・閉講式 修了証明書授与

※講師 神奈川県視覚障害者福祉協会 鈴木孝幸 氏、福喜多恭子 氏
株式会社あじさい 本部和裕 氏、厚木市社協居宅介護事業所 小池美智代 氏

イ 福祉団体等助成事業

(ア) 福祉団体（8団体） 730,000円
(イ) 一般会員組織への助成（3団体） 690,000円

ウ 車いすの貸出事業

疾病やケガなどにより、一時的に車いすを必要とする方に貸出を行いました。
貸出件数 177件

エ 保育園児支援事業

市内保育施設における情操教育に関する教材整備に対する助成を行いました。

46施設 総額 907,975円

オ 福祉活動団体等の研修支援(マイクロバス運行)事業

運行件数 35件 (市内16件・市外19件)

カ 障害者週間啓発事業

「障害者週間」の紹介及び「ともに生きるかながわ憲章」の理念を広く社会に浸透させるため、題字「ともに生きる」と本会公益事業の障がい者スタッフの絵をクリアファイルに印刷して市民に配布しました。

(4)共同募金配分金事業

ア 料理教室

料理教室を通じて、シニア世代の参加者同士が親睦を深めながら食生活のあり方を学ぶ機会とし、参加者が自宅で調理ができる力を身に付け健康の増進を図ることを目的として、アミューあつぎ6階クッキングスタジオを会場に料理教室を開催しました。

開催日	内容	参加者
令和6年7月19日(金)	調理実習	12人
令和6年9月13日(金)	調理実習	11人
令和6年12月6日(金)	調理実習	9人
令和7年2月21日(金)	調理実習	10人

イ 障害者地域活動支援センター助成事業

障害者地域活動支援センター事業所に対し、運営費として助成を行いました。

5施設 総額550,000円

ウ 高齢者福祉施設一日体験事業の実施

中学生を対象に、ボランティア精神の育成並びに福祉教育の一助として実施しました。

施設名	実施日	参加者
けいわ荘	令和6年9月12日(木)	2人
第二森の里	令和6年10月12日(土)	2人
メイサムホール	令和6年11月6日(水)、7日(木)	6人
合 計		10人

エ 年末たすけあい事業

共同募金年末たすけあい配分金で、障害者就労継続支援B型事業所と障害者地域活動支援センターの年末事業等に助成を行いました。

障害者就労継続支援B型事業所 12事業所

障害者地域活動支援センター 5事業所

総額 850,000円

(5) ボランティアセンター活動事業
 ア ボランティアセンターの管理運営
 (ア) ボランティア相談件数

(単位：件)

相談内容		対応内訳									
		情報 提供 指導	情報 周知	連絡 調整	備品 貸出	保険 説明	保険 処理	講師 派遣	募集 資材 掲出	その 他	件数
活動 相談	ボランティアの 種類、方法	30	0	1	0	0	0	0	0	1	32
	団体の活動内容、 参加方法	4	0	9	0	0	0	0	0	0	13
	実習、体験相談	16	0	3	1	0	0	0	0	0	20
	活動組織の 立ち上げ支援	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
派遣 相談	派遣相談	17	0	30	0	0	0	0	0	0	47
	掲出依頼	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
保険 相談	保険の種類、 加入方法	14	0	2	0	10	1	0	0	0	27
	加入手続き、 事故報告書手続き	3	0	0	0	2	1	0	0	0	6
活動 指導	団体からの 活動相談、指導	20	0	5	0	0	0	0	0	2	27
	個人からの 活動相談、指導	5	0	0	0	0	0	0	0	1	6
その 他	団体への 活動依頼方法	5	0	5	0	0	0	0	0	1	11
	収集ボランティア (送付先等)	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	各種助成金	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	備品貸出相談	3	0	0	3	0	0	0	0	1	7
	その他の問合せ	47	0	17	1	0	0	0	0	6	71
計		182	0	72	5	12	2	0	0	12	285

(イ) ポスター掲示
 ポスター 61枚
 チラシ・パンフレット 189冊

(ウ) ボランティア活動保険
 加入手続き 167件
 事故処理 4件

(エ) ボランティアセンター利用状況

部 屋 名	利用者数（延べ人数）
研修室	12,901人
作業室	4,216人
点字作成室	3,218人
録音室	2,382人
対面朗読室	1,549人
合 計	24,266人

(オ) ボランティアセンター登録（令和7年3月31日現在）

団体 67団体 3,872人
個人 38人

(カ) ボランティアセンター運営委員会の開催

開 催 日	令和6年7月12日（金）
場 所	厚木市保健福祉センター
出 席 者	8人
協議事項	(1)令和5年度ボランティアセンター事業報告について (2)令和6年度ボランティアセンター事業計画について (3)その他

イ ボランティア講座の開催

(ア) 赤い羽根共同募金ボランティア養成講座

小学生を対象に、赤い羽根共同募金全体に対する理解を深め、福祉教育の一環として福祉に対する意識や関心を高めること及び親子等の参加により、親世代に対する福祉教育の推進を目的として開催しました。

開 催 日	講 義 令和6年8月2日（金） 街頭募金活動 令和6年10月5日（土）
場 所	厚木市保健福祉センター及び本厚木駅北口
講 師	社会福祉法人神奈川県共同募金会 事務局長 中島孝夫 氏
参 加 者	3組6人
内 容	赤い羽根共同募金運動についての講義、活動紹介 街頭募金活動

(イ) ボランティアスタートアップ講座

ボランティアに関心がある方や今後活動をしたいと考えている方を対象に、ボランティアの基本を学ぶことを目的としたボランティアスタートアップ講座を開催しました。

開催日	令和7年3月1日（土）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	社会福祉法人座間市社会福祉協議会 地域福祉課 三田響子 氏
参加者	16人
内容	(1)ボランティアについて（講義） (2)グループワーク (気になる活動、ボランティアに参加する自分なりの価値や意味)

(ウ) 地域ボランティア養成講座

地区の福祉活動に携わる人材の発掘・養成と担い手の確保及び受講者のその後の継続的な地域活動を支援するため、地区地域福祉推進委員会と共催で地域ボランティア養成講座を開催しました。

1	共催地区	依知北地区地域福祉推進委員会
	開催日	令和7年2月15日（土）
	場所	依知北公民館
	講師	講義：東海大学健康学部健康マネジメント学科 教授 妻鹿ふみ子 氏 体験：日本車いすバスケットボールアカデミー 熊谷昌飛 氏、大嶽智也 氏、長田龍司 氏
	参加者	40人
	内容	(1)地域とボランティアについて（講義及びワーク） (2)地域ボランティア団体活動紹介 (3)車いすバスケットボール体験会
2	共催地区	緑ヶ丘地区地域福祉推進委員会
	開催日	令和7年2月23日（日・祝）
	場所	緑ヶ丘公民館
	講師	認定NPO 法人よこはま地域福祉研究センター センター長 佐塚玲子氏
	参加者	16人
	内容	(1) 目指そう！住民と地域とワタシのシアワセ ～ボランティアという生き方の価値と魅力を知ろう！ 広げよう！～（講義） (2) 緑ヶ丘地区地域福祉推進委員会活動紹介

ウ 福祉教育推進事業

(ア) 小中学生用福祉教育推進事業

小中学校における福祉教育推進のため、体験学習の講師を派遣しました。
(点字体験及び高齢者擬似体験については物品貸出のみ)

福祉教育実施学校数 29校(小学校22校、中学校7校)

講座名	延べ実施校数	実施回数	延べ受講児童・生徒数
手話体験	19校	19回	1,510人
点字体験	6校	6回	500人
誘導体験	11校	11回	918人
車いす体験	18校	18回	1,539人
高齢者擬似体験	10校	10回	686人
認知症サポート	3校	3回	139人
合 計		67回	5,292人

(イ) 高校生用福祉教育推進事業

高齢者、障がい者に対する理解と関心を深め「見守り、見守られ、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」の推進を図るため、市内高等学校に通う生徒を対象に講師の派遣及び物品の貸出を行いました。

福祉教育実施学校数 1校

講座名	実施回数	延べ受講生徒数
手話体験	2回	249人
誘導体験	1回	8人
車いす体験	1回	20人
合 計	4回	277人

(ウ) 市内企業・団体用福祉教育推進事業

高齢者、障がい者に対する理解と関心を深め見守り、見守られ、支え合い、一人一人が尊重される地域づくりの推進を図るため、市内企業・団体を対象に物品の貸出を行いました。

実施企業・団体数 4団体

講座名	実施回数	受講者数
高齢者擬似体験	4回	196人
合 計	4回	196人

エ ボランティア団体等への助成

- (ア) ボランティア団体活動助成金
26団体 交付総額 551,000円
- (イ) 障がい者支援団体助成金
4団体 交付総額 570,000円

オ ボランティア情報の提供

ボランティア募集情報パンフレットやホームページ、ボランティアセンター
掲示板等で情報の提供を行いました。

カ 災害ボランティア支援体制の強化

- (ア) 災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座
災害ボランティアセンターの運営に係るスタッフの養成を目的として開催し
ました。参加者のうち13人が運営スタッフとして登録しました。

開催日	令和6年6月22日（水）
場 所	厚木市保健福祉センター
講 師	災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ 事務局長 石田真実 氏
参加者	16人
内 容	(1)災害支援と災害ボランティアセンターについて（講義） (2)グループワーク

- (イ) 災害ボランティアセンター運営スタッフ向け研修・交流会
厚木市の災害時における災害ボランティアセンターの運営及びボランティア
の支援体制について、連携強化を目的として開催しました。

開催日	令和6年11月30日（土）
場 所	厚木市保健福祉センター
報告者	援護係 職員
参加者	24人
内 容	(1)能登町災害ボランティアセンターでの活動について（報告） (2)交流会

- (ウ) 災害に備える地域力講座～支援を活かす地域力ワークショップ～
重層的支援体制整備事業の地域づくり事業の一環として開催した「地域のつ
ながり講演会東日本大震災から考える～地域コミュニティの大切さを知る～」
との合同開催としました。

- (エ) 災害ボランティアセンターに関する打合せ（厚木市と連携）

開催日	令和6年7月8日（月）、8月5日（月）、9月4日（水）
場 所	厚木市保健福祉センター、市役所第二庁舎
出席者	延べ13人

- (f) 災害ボランティアセンター設置運営訓練（厚木市、厚木青年会議所と連携）
令和6年9月1日（日）に実施予定でしたが、台風の影響により中止となりました。
- (g) 協定書に基づく3者（青年会議所、厚木市、社協）情報交換会
災害ボランティアセンター設置運営訓練の中止に伴い、3者情報交換会として災害ボランティアセンター運営スタッフ向け研修に参加しました。

キ ボランティア団体との共催による講座

- (ア) 夏休み親子手話教室
親子で楽しみながら手話を体験及び学習することを目的に開催しました。

開催日	令和6年7月24日（水）、25日（木）、26日（金）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市手話サークルあゆの会
参加者	10組20人

- (イ) 手話入門講座
聴覚障がい者に対する認識や理解を深めることを目的に開催しました。

開催日	令和7年2月6日～3月6日 すべて金曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市手話サークルあゆの会
参加者	10人

- (ウ) 点訳講座
点訳技術の普及を通じて、視覚障がい者に対する認識・理解を深めることを目的に開催しました。

開催日	令和6年8月29日（金）（説明会） 9月5日～令和7年3月27日 すべて木曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市点訳赤十字奉仕団
参加者	5人

- (エ) パソコンサポートボランティア養成講座
目の不自由な方を対象に、パソコン操作をサポートするボランティアを養成することを目的に開催しました。

開催日	令和7年2月18日（火）、2月25日（火）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木障害者PCサポートクラブ
参加者	2人

(カ) 福祉教育推進ボランティア養成講座

市内小学校等で車いす操作や高齢者擬似体験を指導する講師を養成することを目的に開催しました。

開催日	令和7年2月4日（火）、2月5日（水）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市福祉教育推進ボランティアあおぞら会
参加者	10人

(カ) 視覚障がい者の誘導法講座

視覚に障がいのある方々の外出を支援する誘導法を習得したボランティアの養成を図ることを目的に開催しました。

開催日	令和7年1月25日～2月22日 すべて土曜日
場所	厚木市保健福祉センター、あつぎ市民交流プラザ
講師	厚木市誘導赤十字奉仕団
参加者	4人

(キ) はじめての誘導体験教室

広く市民を対象として、誘導法の基本の学習と体験を行いました。

開催日	令和6年10月12日（土）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市誘導赤十字奉仕団
参加者	16人

ク 市内企業等への協力事業

(ア) スタディドライブ

生活協同組合ユーコープ西湘1エリア会が実施するスタディドライブ（未使用文房具を回収して品物を必要とする団体等に寄付する活動）に協力し、登録ボランティア団体や市内福祉施設に約1,000点の文房具をお渡ししました。

開催日	回収期間 令和6年10月1日～10月31日 受渡し日 令和6年11月27日（水）
場所	回収場所 コープ厚木戸室店、鳶尾店、愛甲店他市外2店舗 受け渡し場所 コープ厚木戸室店
受渡し先	5施設1団体

(イ) 厚木青年会議所 3 月防災例会

災害時の意識を高めるとともに、実際に行動に移せるメンバーを増やすため、どのような貢献ができるかを考えるワークに、本会職員 2 人がアドバイザーとして参加しました。

開催日	令和 7 年 3 月 1 1 日 (火)
場所	厚木商工会議所 5 階 大会議室
参加者	約 5 0 人

(6) 資金貸付事業

ア 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯等の経済的自立及び安定した生活の促進を図るため生活福祉資金制度の申込受付を行いました。

資金の種類	申込件数	申込額
緊急小口資金	3 件	300, 000 円
福祉資金	2 件	760, 000 円
教育支援資金	4 件	4, 326, 000 円
合計	9 件	5, 386, 000 円

※ 生活福祉資金の貸付金については、原則、神奈川県社会福祉協議会から借受者の口座に振込まれます。

イ 緊急援護資金貸付事業

一時的に生活に困窮し、緊急に援護が必要と認められた世帯に対し、生活資金の貸付を行いました。

貸付金額	貸付件数	貸付額
10, 000 円未満	10 件	64, 500 円
10, 000 円以上 20, 000 円未満	30 件	395, 000 円
20, 000 円以上 30, 000 円未満	27 件	606, 000 円
30, 000 円	37 件	1, 110, 000 円
合計	104 件	2, 175, 500 円

ウ 行旅人旅費貸付事業

行旅人援護のため、旅費の一部の貸付を行いました。

(7)在宅援護等事業

ア 移送サービス事業(ひばり号の運行)

高齢、障がいなどにより単独での移動が困難な方を対象に、有料で通院等の移送サービスを実施しました。

(単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	111	87	44	93	80	87	75	75	89	80	78	98	997
利用用途	通院	75	63	35	64	54	66	61	51	56	59	59	722
	通院外	36	24	9	29	26	21	14	24	33	21	19	275
利用先	市内	98	73	41	74	65	78	68	66	82	70	68	865
	市外	13	14	3	19	15	9	7	9	7	10	10	132

イ あつぎしあわせライフサービス事業(有料在宅援護サービス)

日常生活においてサポートを必要とする家庭に対し、市民の参加と協力により、有料で家事援助や介助などのホームヘルプサービスを提供しました。

(7) 利用実績

(単位：人、件、時間)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	3	3	3	3	2	3	3	4	3	3	3	36
	時間数	6	6	6	6	4	6	6	8	6	6	6	72

(イ) 利用会員登録者数 5人

(ウ) 協力会員(ヘルパー)登録者数 13人

ウ 災害見舞金の支給

災害罹災世帯に対して見舞金を支給しました。

区分	件数	支給額	備考
全焼	4件	100,000円	@30,000円×2、@20,000円×2
半焼	1件	10,000円	@10,000円×1
合計	5件	110,000円	

2 権利擁護支援センター

(1) 権利擁護支援事業

ア 成年後見制度の利用促進

(7) 成年後見制度の周知啓発

- ・厚木市権利擁護支援センターあゆさぼのパンフレット内容を見直し、関係機関へ送付。
- ・ノベルティを作成、配布。
- ・タウンニュース等に関連記事の掲載。
- ・本会ホームページやフェイスブックで随時情報発信。

(イ) 出前講座

	開催日等		参加者
1	開催日	令和6年6月19日(水)	27人
	実施先	小金原自治会 ミニデイ	
	内 容	終活について(任意後見契約、遺言)、あゆさぼについて	
2	開催日	令和6年6月20日(木)	23人
	実施先	日枝老人憩いの家 ミニデイ	
	内 容	終活について(任意後見契約、遺言)、あゆさぼについて	
3	開催日	令和6年7月23日(火)	24人
	実施先	尼寺老人憩いの家 ミニデイ	
	内 容	終活について(任意後見契約、遺言)、あゆさぼについて	
4	開催日	令和6年8月22日(木)	26人
	実施先	台自治会 ミニデイ	
	内 容	終活について(任意後見契約、遺言)、あゆさぼについて	
5	開催日	令和6年8月22日(木)	6人
	実施先	愛甲公民館	
	内 容	成年後見制度について、あゆさぼについて	
6	開催日	令和6年9月10日(火)	12人
	実施先	厚木市手をつなぐ育成会	
	内 容	終活について(任意後見契約、遺言)、あゆさぼについて	
7	開催日	令和6年11月8日(金)	15人
	実施先	愛名やまゆり園	
	内 容	成年後見制度について、あゆさぼについて	
8	開催日	令和6年11月18日(月)	16人
	実施先	駒ヶ原自治会館 ミニデイ	
	内 容	終活について(任意後見契約、遺言)、あゆさぼについて	
9	開催日	令和7年1月14日(火)	12人
	実施先	中戸田老人憩いの家	
	内 容	成年後見制度について、あゆさぼについて	
10	開催日	令和7年3月9日(日)	30人
	実施先	紅梅学園	
	内 容	成年後見制度とあゆさぼについて	

(ウ) 成年後見制度普及講座

啓発講座成年後見制度や関連する制度についての知識を深めるため実施しました。

1	開催日・場所	令和6年6月10日（月）アミューあつぎ
	講座タイトル	「成年後見制度のポイント ～支援者が知っておきたい成年後見制度の基礎知識～」
	参加者	34人（地域包括支援センター6人、高齢者支援事業所8人、障がい者支援事業所16人、医療機関4人）
2	開催日・場所	令和6年8月6日（火）アミューあつぎ
	講座タイトル	はじめての成年後見講座
	参加者	市内在住、在勤者19人
3	開催日・場所	令和6年10月11日（金）アミューあつぎ
	講座タイトル	人生100年時代備えて安心！ 任意後見制度と遺言の基礎知識
	参加者	市内在住、在勤者27人
4	開催日・場所	令和7年1月28日（火）アミューあつぎ
	講座タイトル	財産管理のこれだけは知っておきたいポイント！
	参加者	市内在住、在勤者21人
5	開催日・場所	令和7年3月10日（月）アミューあつぎ
	講座タイトル	事例で学ぶ ～高齢者と成年後見制度の利用～
	参加者	24人

※講師 司法書士 林真吾 氏、行政書士 飯田沙耶 氏、司法書士 仲井雅光 氏、
遺言者保管官 齊藤淳 氏、財務コンサルタント 島田信也 氏、
行政書士 宮盛康友 氏、社会福祉士 那須三朗 氏

(エ) 成年後見制度地域連携講演会

市民及び様々なニーズの窓口となる福祉関係者、医療関係者等を対象とし、
制度をより身近に感じられるように周知を図りました。

開催日・場所	令和6年12月12日（木）厚木商工会議所
内 容	安心した生活を送るための成年後見制度 ～意思決定支援と地域連携ネットワークの構築～
参加者	市内在住、在勤者56人

※講師 東洋英和女学院大学 名誉教授 石渡和実 氏

(f) 多職種連携事例検討研修会

多職種の顔つなぎ、連携を目的に、後見活動を行っている専門職と厚木市内福祉医療関係者を対象とし、事例検討を行いました。

開催日・場所	令和6年8月29日（金）アミューあつぎ
内 容	グループワークでの事例検討
参加者	39人 ※厚木市で後見活動を行っている専門職及び厚木市内の事業所に勤務する福祉医療関係者対象 (内訳：弁護士4人、司法書士1人、社会福祉士6人、税理士1人、行政書士2人、高齢者支援関係職員10人、障がい者支援関係職員9人、医療ソーシャルワーカー2人、市民後見人登録者4人)

※講師 社会福祉士 那須三朗 氏

(g) 本人を中心とした「チーム支援」の仕組みづくり

関係機関と連携し本人の状況に応じて福祉・医療・地域等関係者がチームとして関わる“チーム支援”を行いました。

チーム支援対応件数：107件

(h) 候補者調整会議

後見人等候補者を調整する会議を開催し、本人にとってふさわしい後見人等候補のマッチングに努めました。

1	開催日・場所	令和6年5月30日（木）アミューあつぎ
	協議事項等	(1)親族申立て候補者推薦案件について (日常生活自立支援事業からの移行) (2)親族申立て候補者推薦案件について (3)市民後見人候補者名簿の登録終了について
2	開催日・場所	令和6年7月25日（木）アミューあつぎ
	協議事項等	(1)市民後見人追加選任申立て案件について
3	開催日・場所	令和6年9月26日（木）アミューあつぎ
	協議事項等	(1)親族申立て案件について
4	開催日・場所	令和6年11月28日（木）アミューあつぎ
	協議事項等	(1)社協法人後見の辞任申立て案件について (市民後見人の単独受任) (2)社協法人後見の辞任申立て案件について (市民後見人の単独受任) (3)市民後見人の候補者の育成、登録及び支援に関する要綱改正について (4)市民後見人受任ケースについて

イ 地域連携ネットワークにおける中核機関の運営

(ア) 厚木市成年後見制度利用促進協議会の運営

権利擁護における地域連携ネットワークの中核機関として、協議会の事務局を担い、各種専門職団体や各関係機関、家庭裁判所との連携、地域課題についての情報交換、検討の場として協議会を開催しました。

1	開催日・場所	令和6年5月15日（水）アミューあつぎ
	協議事項等	案件（1）成年後見制度に関する情報共有 報告（1）令和5年度厚木市成年後見等利用支援事業の実施状況について 報告（2）令和5年度厚木市権利擁護支援センターあゆさばの取組状況について その他（1）厚木市成年後見制度利用促進基本計画（第二期）について その他（2）厚木市社会福祉協議会 第7次地域福祉活動計画について その他（3）令和6年度多職種連携事例検討研修会について その他（4）次回以降の会議日程について
2	開催日・場所	令和6年10月16日（水）アミューあつぎ
	協議事項等	案件（1）成年後見制度の任意後見契約に関する情報共有 その他（1）成年後見制度地域連携講演会について その他（2）次回の会議日程について
3	開催日・場所	令和7年2月12日（水）アミューあつぎ
	協議事項等	案件（1）事例に基づくグループディスカッション 案件（2）成年後見制度に関する情報共有 報告（1）厚木市成年後見制度利用促進基本計画について その他（1）令和7年度厚木市成年後見制度利用促進協議会開催日程案について

(イ) 「チーム支援」における専門職との連携

訪問による相談やチーム支援にアドバイザー（各種専門職）を派遣しました。

アドバイザー派遣件数 8件

（司法書士1件、社会福祉士6件、行政書士1件）

(ウ) 成年後見制度関係等相談対応

延べ件数 2, 6 4 3 件

(新規相談対応 2 3 9 件、継続相談対応 2, 4 0 4 件)

(単位：件)

区分	高齢者		障がい者			その他	合計
	一般	認知症	精神	知的	身体		
問合せ	31	79	22	11	36	9	188
成年後見制度（法定後見） の具体的な相談	85	236	50	28	28	4	431
申立について	45	130	47	26	20	1	269
任意後見制度・終活相談	67	14	3	0	6	9	99
後見人等からの相談	2	87	26	17	0	0	132
チーム支援会議等の 開催・参加	13	35	9	38	12	0	107
連絡・調整	276	536	115	119	107	8	1161
その他	29	71	33	106	15	2	256
合 計	548	1, 188	305	345	224	33	2, 643

(エ) 専門職相談

実際に成年後見人等の業務を行っている専門職に制度の利用方法や後見人等の実務に関することなどを相談することができる専門職相談を実施しました。

(a) 弁護士による成年後見相談 相談件数 9 件

(b) 司法書士による成年後見相談 相談件数 2 9 件

ウ 成年後見制度の担い手の確保

(7) 市民後見人登録者資質向上研修

市民後見人登録者（1 5 人）の知識の習得及び資質向上を目的とした研修を実施しました。

1	開催日・場所	令和 6 年 7 月 5 日（金）アミューあつぎ
	内 容	税の知識、税務申告制度について
	参加者数	1 2 人
2	開催日・場所	令和 6 年 1 1 月 1 1 日（月）アミューあつぎ
	内 容	最期まで自分らしくいるための人生会議
	参加者数	1 2 人
3	開催日・場所	令和 7 年 3 月 2 5 日（火）アミューあつぎ
	内 容	市民後見人意見交換会 (1) 市民後見人の受任状況とマニュアルの見直しについて (2) 意見交換（グループワーク）
	参加者数	6 人

※講師 税理士 山本みや子 氏、社会福祉士 高松真由美 氏（アドバイザー）
厚木市地域包括ケア推進課 在宅福祉推進係長 郡司千和美 氏

(イ) 市民後見人小グループミーティング

市民後見人登録者の活動の支援と推進を目的に、少人数で意見交換が行える場を設け、それぞれの経験を共有する場として開催しました。

1	開催日・場所	令和6年7月12日（金）厚木市保健福祉センター
	内 容	意見交換
	参加者数	3人
2	開催日・場所	令和6年10月30日（水）厚木市保健福祉センター
	内 容	意見交換
	参加者数	3人
3	開催日・場所	令和7年1月15日（水）厚木市保健福祉センター
	内 容	意見交換
	参加者数	5人

※アドバイザー 社会福祉士 高松真由美 氏

(ウ) 市民後見人登録者の待機期間の活動について

市民後見人登録者が成年後見人等を受任するまでの待機期間の活動として、5人の市民後見人登録者が本会の非常勤職員として日常生活自立支援事業の生活支援員業務を行いました。

(エ) 市民後見人の選任・活動について

横浜家庭裁判所小田原支部から市民後見人2人が新たに選任され、9人の市民後見人が本会との複数受任で後見等の支援活動を行いました。そのうち、2人の市民後見人が単独受任へ移行をしました。

(オ) 親族後見人勉強会

後見人支援の一環として、家庭裁判所への報告や記録の管理の方法など、実際に後見人を受任している親族が学ぶことができるような内容の勉強会を開催しました。

開催日・場所	令和7年2月7日（金）厚木市保健福祉センター
内 容	具体的な後見業務と家庭裁判所への報告について
参加者	19人（市内在住または在勤で、親族の成年後見人・保佐人・補助人を受任されている方6人、親族の成年後見人等になることを検討されている方13人）

※講師 司法書士 中野智子 氏

(カ) 法人後見活動の普及啓発

- ・法人後見に関する相談を受け、法人後見活動の普及啓発を行いました。
- ・厚木市内の社会福祉法人へ、法人後見についての説明・相談を行いました。

エ 法人後見事業

本会が成年後見人等となり法人後見を推進しました。

延べ支援件数 1, 0 3 9 件

(ア) 横浜家庭裁判所小田原支部から成年後見人等として選任されました。 3 件

後見	保佐	補助
2件	1件	—

(イ) 受任件数(令和7年3月31日現在) 10 件

後見	保佐	補助
4件	5件	1件

(ウ) 受任体制充実のための内部カンファレンスの開催

	開催日・場所	協議事項等
1	令和6年4月18日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)令和6年度における法人後見に関する 予定について (3)法人後見事業 事務処理について (4)その他
2	令和6年5月24日(金) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
3	令和6年6月21日(金) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
4	令和6年7月31日(水) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)市民後見人単独受任に向けたマニユ アルについて (4)その他
5	令和6年8月26日(月) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)市民後見人単独受任に向けたマニユ アルについて (4)緊急時の対応について (5)その他
6	令和6年9月24日(月) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見新規ケース受任について (3)その他
7	令和6年10月18日(金) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
8	令和6年11月25日(月) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)市民後見人単独受任について (4)その他

	開催日・場所	協議事項等
9	令和6年12月18日(水) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
10	令和7年1月20日(月) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)市民後見人の名簿登録更新について (4)その他
11	令和7年2月27日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)その他
12	令和7年3月13日(木) 社協相談室	(1)法人後見・市民後見人実施状況について (2)法人後見事業 事務処理について (3)市民後見人の名簿登録更新について (4)その他

オ 高齢者及び障がい者の虐待に関すること

- (ア) 高齢者及び障がい者の虐待等、権利侵害に関する相談、通報を受付けし、関係機関の連携を図りました。また、本会広報紙やホームページで市民等に広報、啓発を行いました。

虐待相談受付件数 104件

(単位:件)

区分	高齢者	障がい者	その他	合計
虐待通報・届出受理	16	13	0	29
虐待相談・連絡調整	29	44	2	75

(イ) 虐待防止講演会

虐待防止の啓発を目的に開催しました。

開催日・場所	令和7年1月29日(水) アミューあつぎ
内 容	「現役社会福祉士が体験した虐待の事例と意見交換 ～虐待を未然に防ぐコツ・虐待を受けた人へのケア～」
参加者数	49人

※講師 社会福祉士 高木重徳 氏

カ 終活相談

高齢者が自分らしい人生の最期を迎えることができるよう適切な助言等を行うため、司法書士による終活相談を実施しました。

相談件数 45件

(2) 日常生活自立支援事業

認知症や障がいにより日常生活上の判断能力が十分でない方に対し、福祉サービスの利用手続き、預貯金の出し入れなどの金銭管理や書類預かりを行い、日常生活の自立を支援しました。

延べ支援件数 2,004件

ア 新規契約件数

福祉サービス利用援助契約 6件（高齢者2件、精神障がい者4件）

イ 終了件数

福祉サービス利用援助契約 5件
（高齢者2件、知的障がい者1件、精神障がい者2件、）

ウ 利用契約件数(令和7年3月31日現在)

福祉サービス利用援助契約 38件
（高齢者11件、知的障がい者3件、精神障がい者20件、身体障がい者4件）
書類等預かりサービス利用契約 2件（知的障がい者1件、精神障がい者1件）

エ 契約や支援計画変更等に向けた局内カンファレンスの開催

	開催日・場所	協議事項等
1	令和6年4月22日（月） ボランティア研修室	(1)調整・保留ケース状況について (2)支援計画の見直しについて（1件） (3)ケースの報告・相談
2	令和6年5月27日（月） ボランティア作業室	(1)調整・保留ケース状況について (2)新規ケースについて（3件）
3	令和6年6月28日（金） ボランティア研修室	(1)調整・保留ケース状況について (2)ケースの報告・相談 (3)利用料決定のための所得状況確認について (4)その他
4	令和6年7月29日（月） ボランティア作業室	(1)調整・保留ケース状況について (2)新規ケースについて（1件） (3)支援計画の見直しについて（1件） (4)モニタリングの実施について (5)その他
5	令和6年8月30日（金） ボランティア作業室	(1)調整・保留ケース状況について (2)契約中のケースについて
6	令和6年9月30日（月） ボランティア作業室	(1)待機・保留ケース状況について (2)モニタリング実施による支援計画の見直しについて
7	令和6年11月1日（金） ボランティア研修室	(1)待機・保留ケース状況について (2)新規ケースについて（1件） (3)その他
8	令和6年11月22日（金） ボランティア研修室	(1)待機・保留ケース状況について (2)新規ケースについて（1件） (3)支援計画の見直しについて（2件） (4)その他
9	令和6年12月20日（金） ボランティア研修室	(1)待機・保留ケース状況について (2)支援計画の見直しについて（1件） (3)その他

	開催日・場所	協議事項等
10	令和7年1月17日（金） 4階相談室（大）	(1)待機・保留ケース状況について (2)支援計画の見直しについて（1件） (3)モニタリングの実施について (4)その他
11	令和7年2月28日（金） ボランティア研修室	(1)待機・保留ケース状況について (2)新規ケースについて（1件） (3)支援計画の見直しについて（1件） (4)預かり物点検調査について
12	令和7年3月28日（金） ボランティア研修室	(1)待機・調整・保留ケース状況について (2)次年度の支援計画見直しについて (3)新規ケースについて（1件） (4)その他

3 居宅介護事業

障害者総合支援法における居宅介護事業所として障がい福祉サービスを提供しました。

ア 利用契約状況等（令和7年3月31日現在）

(ア) 利用契約者数（視覚障がい者） 29人

(イ) 従業者（ヘルパー） 26人

イ サービス提供実績

(ア) 居宅介護事業

（単位：人、件、時間）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助	利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	3	2	3	4	3	3	3	3	3	3	5	38
	時間数	7.5	4.5	7.25	9.5	7.25	7.0	7.25	7.25	7.0	7.5	7.0	91.0

(イ) 同行援護事業

（単位：人、件、時間）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
同行援護	利用者数	22	24	23	25	22	22	25	25	20	21	20	270
	件数	112	116	110	123	95	110	123	118	94	98	101	1301
	時間数	543.0	533.0	540.5	593.0	436.5	546.0	651.0	621.0	500.0	543.5	508.5	6510.5

ウ 厚木市社協居宅介護事業所従業者研修

業務のレベルアップと適切なサービス提供を図ることを目的とした研修を開催しました。

開催日・場所	令和7年1月24日（金）厚木市保健福祉センター
内 容	“支援中に災害発生その時どうする？” “スピーチロック part 2”

※講師 NPO 法人神奈川県視覚障害者福祉協会

神奈川県視覚障害者情報センター神奈川ライトハウス 福喜多恭子 氏

エ 虐待防止委員会

開催日 令和7年2月13日（火）

内 容 虐待防止のための従業者研修について

4 喫茶・売店事業

公益事業として、障がい者の雇用の場の確保と利用者の利便性向上のため、厚木市保健福祉センター内で、次の事業を実施しました。

ア 喫茶事業（ともしびショップの経営）

喫茶どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営

年間236日営業 延べ利用者 2,850人

イ 売店事業（ともしびショップの経営）

売店どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営

年間236日営業 延べ利用者 1,766人

ウ 厚木市保健福祉センター内における清涼飲料水の自動販売機の設置（4台）

5 自動販売機設置事業

収益事業として、市内公共施設に清涼飲料水等の自動販売機を設置し、本会福祉事業の財源確保を図りました。 計45台

6 その他

不要入れ歯リサイクルボックスの設置

厚木市保健福祉センター1階 大型回収ボックス1台

厚木市老人福祉センター寿荘 小型回収ボックス1台